

1 1. 分散会まとめ

(1 グループ)

交流のテーマ	交流の内容を表す三つのキーワード	キーワードの補足説明
地域の中で連携を・つなげるために	人を育てることが重要	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生、大学生、若者にお金のこと、消費者教育を。 ・地域の中で、活動できる方を育てる事。 ・行政の中でも連携（教育委員会）その準備、段取りをすること。
	地域の中でお互いを知り合う事	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会の中で、見守りネットワークが大切になっている。 ・県内、市内の消費者団体の活動を知りあい、学ぶことが必要。 ・地域の中で、色々な団体が活動している。その団体との連携を。

(2 グループ)

交流のテーマ	交流の内容を表す三つのキーワード	キーワードの補足説明
情報の受発信	人間関係	人が見えることで、事が始まり、情報が発信され、つながりが継続・深まって行く。
	世代	世代によって、情報の受け取り方は様々であることを、発信側は考慮して工夫する（インターネット、口コミ、テレビ、情報誌、人が集まる場）。
	わかりやすく	情報の内容は分かりやすいことが大事（イラストに人気マンガ家のキャラクターを使ったり、読みやすい文章で表現する）。

(3 グループ)

交流のテーマ	交流の内容を表す三つのキーワード	キーワードの補足説明
地域でもっとつながる	PR	各団体の活動や消費生活センターの仕事をもっと知ってもらうことが地域のつながりには必要。
	橋わたし役	さまざまな団体が連携するには橋わたし役が必要で、特に行政の役割が期待される。

(4 グループ)

交流のテーマ	交流の内容を表す三つのキーワード	キーワードの補足説明
ネットワーク	連携	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者団体と障害を持っている方々との情報共有の仕方。 ・グループに全国日本聾唖連盟の小出さんが参加されていて、耳、目が不自由の方がインターネット契約のサギやクーリングオフの方法等がわからない人もいるということを知った。鶴ヶ島の事例を知った民生委員と聾唖者の学習会を月一回開いているので、消費生活センターの方も参加して事例等の情報を出してもらいたい。この活動が他市町にも全国にも広がって欲しいと感じた。

(5 グループ)

交流のテーマ	交流の内容を表す三つのキーワード	キーワードの補足説明
「地域でつながる」ために	行政（市町村）からの資金援助	<ul style="list-style-type: none"> ・学習会・講演会等を行うためには、やはりお金が必要（他地域との交流会への参加にも・・・）。 ・資金以外にもマンパワーの援助も欲しい。
	活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の目的はサークルでもかまわない。とにかく、人を集める。その内で消費者啓発も入れる。 ・県域を超えての交流・意見交換をすることが重要。

(6 グループ)

交流のテーマ	交流の内容を表す三つのキーワード	キーワードの補足説明
—	たてよこのつながり	まず行政の入ったたてのつながりがあって、よこのつながりがひろがっていく。
	変えていく発信力	節電のとりくみから、内閣府への発信までやることが大事。
	情報の共有化	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換からつながることができる。 ・リスクコミュニケーションの大切さ。＝消費者団体の役割。 ・教育の場：学校での消費者教育の難しさがある。

(7 グループ)

交流のテーマ	交流の内容を表す三つのキーワード	キーワードの補足説明
地域づくりへの具体的な関わり方は	新しい人材の確保	人づくり。 新しい団体も含めた横のつながり。
	活動のきっかけづくり HPで情報発信する	寸劇のシナリオを HP で後悔し、他の団体も活用できるようにする。パターンを示してもらえば活動につながられる。
	つながり作りに発送の転換	ボランティア活動をきっかけ。60歳でも OK（すごく若くなくても大丈夫）。草の根運動を誰が担うのか。